



生徒たちにご当地グルメを 山県ハヤシ贈呈式

9月7日、美山中学校で山県ハヤシの贈呈式が行われました。

山県ハヤシは、将来子どもたちが「山県市には豊かな自然とハヤシライスがある」と地元を誇りを持ってもらうことを目的に、山県ハヤシライス研究所から贈呈されました。

提供された山県ハヤシは、ハヤシライスの生みの親である、山県市出身の早矢仕有的さんの生誕日である9月8日に市内中学校3校で振る舞われました。



大桑城跡で 新たな石垣を発見



9月9日、大桑城跡で、新たに戦国時代の石垣を約30カ所発見したことに伴い、報道機関向けに現場説明会を行いました。

NHKの大河ドラマ「麒麟がくる」にも登場した大桑城は、今までの研究で約10カ所の石垣が確認されており、合わせて約40カ所の石垣を確認したことになります。

登山道沿いには「石垣見学ポイント」を、登山道入り口の案内ボックスには「石垣散策マップ」を設置し、登山者が当時の石垣を楽しみながら登山することができます。

交通指導所を開設

9月23日、市内スーパー駐車場で交通指導所が開設されました。

この交通指導所は秋の全国交通安全運動の一環で開設されたもので、同日早朝には県内一斉に街頭指導が行われました。

指導所では、交通安全女性委員や交通安全協会支部長などが通行車両の運転手に、夕暮れ時の早めのライト点灯や、高齢運転者の交通事故防止などを呼びかけながら啓発品を手渡しました。



ご当地ソングで山県市をPR 松阪ゆうきさんが表敬訪問



演歌歌手の松阪ゆうきさんが岐阜路を舞台にしたご当地ソングを発売し、その歌詞に山県市美山地区が出てくることから、9月24日、市長を表敬訪問しました。

松阪さんは「山県市にはみやま川祭りにお招きいただきなど、大変お世話になっております。今回発売する歌を通じて、岐阜県山県市を全国に広めたい」と話しました。市長は「今後の松阪さんのより一層のご活躍と当市の知名度が全国に飛躍的に高まることを心から期待します」と答えました。

自然を満喫

保育園年長児自然体験事業

9月15日から25日までのうち6日間、伊自良湖付近の小川で市内保育園の年長児が、自然体験を行いました。

この事業は、清流の国ぎふ森林・環境基金事業を活用し、子どもたちが自然体験を行うことで自然に興味を持ち、自然を大切な共存資源として守り、成長していくことを目的に実施しました。

参加した園児は、雨の中でも夢中で生き物を探したり、ツリーハウスで遊んだり自然を満喫していました。



美山中2年生が栗拾い研修



9月28日、大桑地区の栗畑で、大桑栗団地組合の協力のもと、美山中学校2年生37人が、栗拾い研修を行いました。この研修は、職業学習の一環で、働くことの意義を体感し、今後の進路選択の視野を広げることが目的としています。

当日は、山県の栗を加工調理している石井食品(株)、販売している(有)天湖森いじらの各代表者からも話を聞きました。

初めて栗拾いをした生徒も多く、全員が笑顔で栗拾いを体験し、充実した学びの場となりました。

山県市交通安全女性連絡協議会が交通安全功労者表彰を受賞



9月24日、ぎふ清流文化プラザで交通安全県民大会が行われ、山県市交通安全女性連絡協議会が団体の部で交通安全功労者表彰を受賞しました。その後、会長である山田愛子さんが市長を表彰訪問し、受賞報告をしました。

同協議会は交通事故抑止のため、さまざまな活動を長年続けています。その実績が認められ今回の受賞につながりました。

田上隆さんが地域貢献を認められ受賞



9月28日、山県市自治会連合会会長の田上隆さんが山県市防犯協会地域安全功労者として表彰されました。

田上さんは、平成18年から自治会長として、平成25年からは高富地区連合会長として現在まで地域活動に尽力されています。

また、自治会活動だけでなく、地域安全指導員や高富小学校区見守り隊として積極的に活動していることが認められ、今回の受賞となりました。

上願自治会が宝くじ助成金で公民館備品を購入



令和2年度コミュニティ助成事業を活用し、上願自治会が、会議用テーブル、椅子、テントなどの備品を購入しました。

コミュニティ助成事業とは、(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とし、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、活動に必要な施設、設備に助成する事業です。